

# 商業簿記①

## 問題1

### 損益計算書 (一部)

自：平成03年4月1日

至：平成04年3月31日

(単位：円)

#### 売上高

一般売上高	( 18,810,000 )
割賦売上高	( 6,700,000 )
積送売上高	( 4,904,000 )
試用売上高	( 3,250,000 )
合計	( 33,664,000 )

#### 売上原価

商品期首棚卸高	( 1,250,000 )
当期商品仕入高	( 11,390,000 )
小計	( 12,640,000 )
戻り商品	( 210,000 )
合計	( 12,850,000 )
商品期末棚卸高	( 1,762,500 )
差引	( 11,087,500 )
棚卸減耗費	( 15,000 )
商品評価損	( 12,000 )
商品売上原価	( 11,114,500 )
売上総利益	( 22,549,500 )

#### 販売費及び一般管理費

1 . . .	. . .
2 戻り商品損失	( 159,000 )
3 . . .	. . .

1つにつき5点×10箇所

**Net-School**

商業簿記②

問題2

勘定科目	決算整理後残高試算表				合併整理記入		本支店合併後 残高試算表	
	本店		支店		借方	貸方	借方	貸方
	借方	貸方	借方	貸方				
現金	1,380,000		210,000		100,000		1,690,000	
普通預金	324,000		(448,000)				772,000	
売掛金	2,500,000		980,000			80,000	3,400,000	
繰越商品	970,000		210,000		165,000		1,345,000	
備品	1,300,000		600,000				1,900,000	
土地	150,000						150,000	
支店	880,000				80,000 200,000	1,160,000		
買掛金		600,000		450,000				1,050,000
未払金		50,000		110,000	40,000	200,000		320,000
減価償却累計額		520,000		165,000				685,000
本店				(855,000)	1,160,000	165,000 100,000 40,000		
繰延内部利益						25,000		25,000
資本金		4,000,000						4,000,000
利益準備金		230,000						230,000
繰越利益剰余金		566,000						566,000
仕入	3,960,000		940,000			165,000	4,735,000	
本店仕入			(1,155,000)		165,000	1,320,000		
営業費	850,000						850,000	
内部利益控除					25,000		25,000	
売上		5,025,000		2,961,000				7,986,000
支店売上		1,320,000			1,320,000			
受取利息		3,000		2,000				5,000
合計	12,314,000	12,314,000	(4,543,000)	(4,543,000)	3,255,000	3,255,000	14,867,000	14,867,000

\* ( ) は各自推算すること

1つにつき5点×10箇所=50点

Net-School

# 会計学①

## 問題 1

番号	正誤欄	理 由
1	○	
2	×	破産更生債権は、債権額から担保の処分見込額および保証による回収見込額を減額し、その残額を貸倒見積高とする。
3	×	長期外貨建債権債務の決算時の換算によって生じた換算差額は、為替差損益として当期の損益として処理する。
4	×	その他資本剰余金の負の残高は、会計期間末において、その他利益剰余金から減額しなければならない。
5	○	
6	×	退職給付費用は、勤務費用に利息費用を加算し、期待運用収益相当額を控除して計算する。
7	×	リース資産計上額を算定する際、リース料総額から利息相当額を控除するため、減価償却費の総額はリース料総額と一致しない。
8	×	未実現利益は少数株主持分に配分せず、親会社が全額負担する。
9	×	負ののれんは特別利益として処理する。
10	○	

## 問題 2

問 1	ア	取得原価	イ	正味売却価額	ウ	再調達原価	エ	使用価値
問 2	符号	a						
問 3	損益計算書の計上場所			売上原価				
問 4	不利な方を、○で囲む。			引当金処理法		○ 資産負債両建処理法		
	理由	両建処理法では除去債務と同額が投資について回収すべき金額として有形固定資産に加えられ、総資産がその分大きくなるため、両建処理法が不利である。						
問 5	損益計算書の計上場所			売上原価				
問 6	悪化する 場合	貸借対照表日後1年以内に資産除去債務の履行が見込まれる場合、資産除去債務は流動負債の区分に表示されるため、流動比率が悪化する。						
問 7	要件	発生が予想される除去費用が、法令又は契約で要求される法律上の義務およびそれに準ずるものであり、かつ、その金額を合理的に見積ることができる場合に負債として計上する。						

- 1つにつき4点×10箇所
- 1つにつき3点× 3箇所
- 1つにつき2点× 8箇所

## 会計学②

### 問題3

#### 問1

【キャッシュ・フロー計算書】

(単位 千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー			
	当期純損失	△	145
	(減価償却費)	[	30 ] ②
[注]	(貸倒引当金)の増減額	[	△ 1 ] ②
	(受取利息及び受取配当金)	[	△ 4 ] ②
	(支払利息)	[	50 ] ②
	固定資産売却損	[	5 ]
[注]	(売上債権)の増減額	[	30 ] ②
	(棚卸資産)の増減額	[	40 ] ②
	(仕入債務)の増減額	[	10 ] ②
	( )の増減額	[	]
	( )	[	]
	小計	[	15 ]
	(利息及び配当金)の受取額	[	4 ] ②
	(利息)の支払額	[	△ 27 ] ②
	( )	[	]
	営業活動によるキャッシュ・フロー	[	△ 8 ]
	投資活動によるキャッシュ・フロー		
[注]	(有形固定資産の売却)による(収入)	[	45 ] ②
	( )による( )	[	]
	( )による( )	[	]
	( )による( )	[	]
	投資活動によるキャッシュ・フロー	[	45 ]
	財務活動によるキャッシュ・フロー		
[注]	(短期借入れ)による(収入)	[	300 ] ②
	(短期借入金の返済)による(支出)	[	△ 280 ] ②
	(長期借入金の返済)による(支出)	[	△ 10 ] ②
	( )による( )	[	]
	(配当金)の支払額	[	△ 50 ] ②
	( )	[	]
	財務活動によるキャッシュ・フロー	[	△ 40 ]
	(現金及び現金同等物)の増減額	[	△ 3 ] ②
	(現金及び現金同等物)の期首残高	[	60 ]
	(現金及び現金同等物)の期末残高	[	57 ]

#### 問2

フリー・キャッシュ・フローの金額	37	②
------------------	----	---

意味	フリー・キャッシュ・フローとは、債務の返済にあてられる資金をいう。	③
----	-----------------------------------	---

③… 1 つにつき 3 点 × 1 箇所

②… 1 つにつき 2 点 × 16 箇所

## 工業簿記

問1 予定配賦率  
 加工部門費 760 円  
 組立部門費 738 円

問2 (円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕掛品	4,402,600	製造間接費加工部門 製造間接費組立部門	1,672,000 2,730,600

※製造間接費 4,402,600 でも可

問3 (円)

①	504,000
②	258,400
③	4,138,620
④	△2,944,820
⑤	0
⑥	5,310,310

問4 (円)

①	9,710,180
②	841,700
③	1,472,410
④	5,310,310
⑤	17,334,600

問5 加工部門費 1,874,750 円

問6 予算差異 172,350 円 ( 不利\* ) 差異  
 操業度差異 30,400 円 ( 不利\* ) 差異 ※借方でも可

問7 A-B: △24,510 円

1つにつき 5点×16箇所  
 1つにつき 10点× 2箇所

## 原価計算

### 問1

( 貢献利益 )

### 問2

もっとも重視すべき取引先 ( 中小商店 )

理由 ( 売上高貢献利益率 ) がもっとも ( 高い ) ため

問3 問2で解答した取引先に対する ( 販売価格 ) が他の取引先と比べて ( 高く ) なっているため

問4 ( 860,000 ) 千円

問5 ( 10,834 ) 千円

### 問6

全体の売上高 ( 700,000 ) 千円

総合スーパーへの売上高 ( 350,000 ) 千円

### 問7

経営レバレッジ ( 3.8 )

問8 営業利益は ( 19 ) %減少し, ( 17,415 ) 千円になる

### 問9

受注回数 ( 2.8 ) 千円

延べ運送距離 ( 2.65 ) 千円

小分け回数 ( 9.55 ) 千円

### 問10

総合スーパー ( 16,970 ) 千円

ドラッグ・ストア ( 12,695 ) 千円

中小商店 ( Δ8,165 ) 千円

### 問11

もっとも重視すべき取引先 ( ドラッグストア )

理由 ( 売上高営業利益率 ) がもっとも ( 高い ) ため

### 問12

直接原価計算方式の場合 ( 1 ) 位

ABCの場合 ( 3 ) 位

理由: 直接原価計算方式では, ① ( 固定費 ) が考慮 ( されない ) が, ABCでは, ① ( 固定費 ) が考慮 ( されるため ), ① ( 固定費 ) の ( 配賦額 ) が他の取引先に比べて ( 高い ) ため

(注) ①の ( ) には同じ用語が入る

### 問13

優先されるべき取引先 ( 総合スーパー )

理由 ( 延べ運送距離1Kmあたり貢献利益 ) がもっとも ( 高い ) ため

### 問14

投資を実施 ( しない )

理由 取引量の ( 制約 ) となっているのは, ( 延べ運送距離の合計 ) であり, 投資を実施 ( して ) も取引量が ( 増加しない ) ため

 1つにつき3点×16箇所

 1つにつき5点×4箇所

 1つにつき8点×4箇所